

# 令和2年度の事業概況及び決算について

## I 事業概況

## II 決算

### 1 財務諸表

- (1) 収支計算書
- (2) 貸借対照表
- (3) 財産目録

### 2 目で見る「収支計算書」と用語解説

令和3年5月

各 位

愛知県信用保証協会

## 令和2年度事業概況及び決算について

日ごろは、本協会の業務運営に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび令和2年度の事業概況及び決算について、次のとおりお知らせします。

### I 事業概況

愛知県におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により令和2年4月に一度目、令和3年1月に二度目の「緊急事態宣言」が発出されるなど、経済活動が大幅に制限されました。

日本銀行名古屋支店によりますと、東海3県の景気は下押し圧力が続き令和2年6月まで厳しい状態にありましたが、令和2年7月から改善に向けた動きが見られ始め、その後、景況感は製造業を中心に改善してきました。令和3年3月については輸出と生産が増加基調にあり、個人消費も全体として持ち直し傾向にあることから、「景気は、厳しい状態が続くなかでも、持ち直している」と発表されています。しかしながら、県内の中小企業・小規模事業者の景況は、引き続き厳しい状況にあります。

金融環境をみると、金融機関（国内銀行、信用金庫）の貸出は、運転資金需要を背景に前年を大幅に上回っており、当協会におきましても、無利子無保証料融資を中心とした金融支援を行った結果、保証承諾額は1兆8,685億円（前年度対比342.6%）と過去最高の実績となり、保証債務残高は2兆2,899億円（前年同期比200.1%）と大きく増加しました。また、代位弁済額は115億円（前年度対比77.6%）と前年度実績を下回りました。

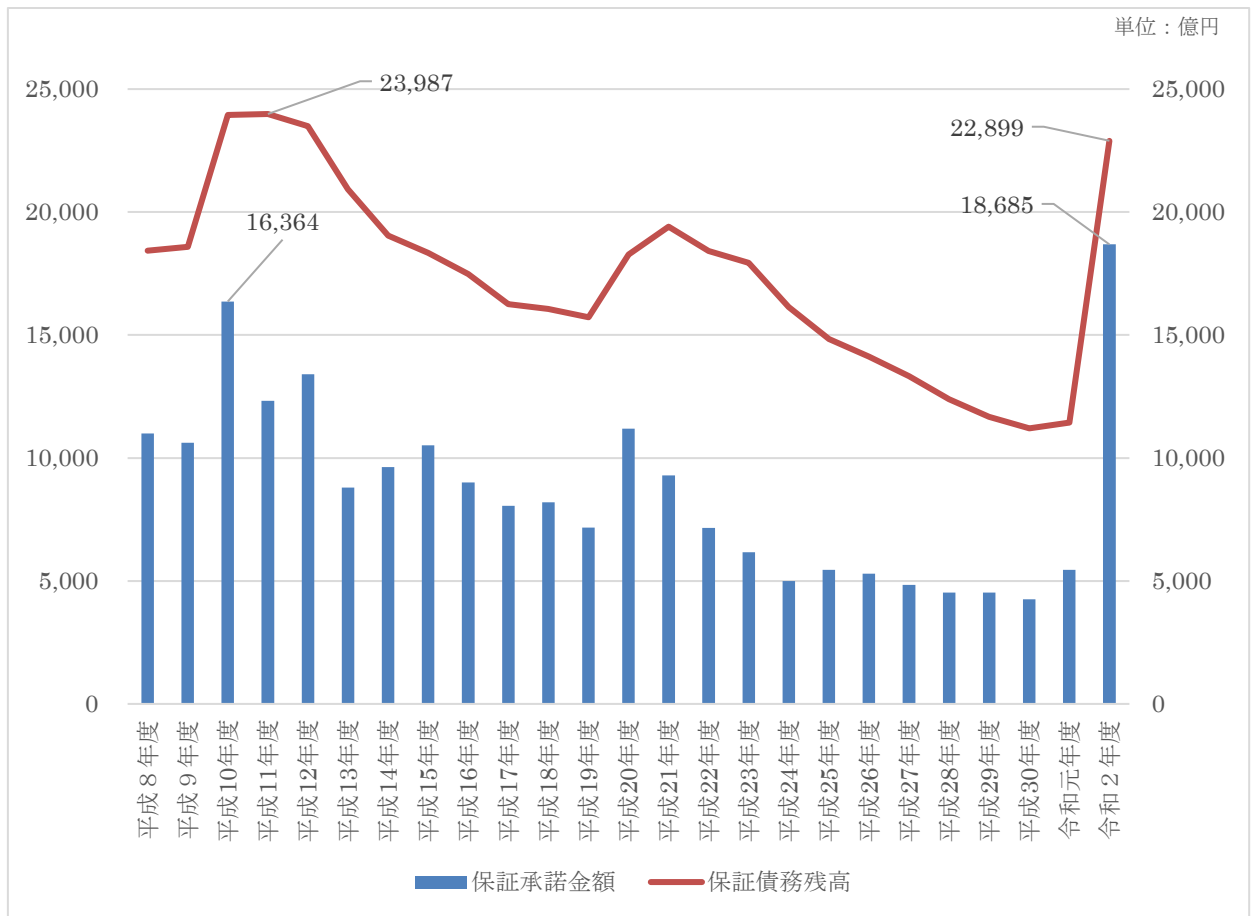
株式会社東京商工リサーチの「全国企業倒産状況」によりますと、愛知県においてもコロナ禍の各種支援策により倒産は抑制されていると発表されています。

新型コロナウイルス感染症の影響は長期に及んでおり、その影響を中心に県内の中小企業・小規模事業者が抱える課題をきめ細かに把握し、金融支援と経営支援を一体的に取り組んでまいりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

(単位 億円、%)

区 分	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	金 額	前年度対比	金 額	前年度対比	金 額	前年度対比
保 証 承 諾 額	4,256	94.1	5,454	128.2	18,685	342.6
保 証 債 務 残 高	11,205	96.0	11,443	102.1	22,899	200.1
代 位 弁 済 額	161	114.9	148	91.8	115	77.6

### 保証承諾金額、保証債務残高の推移（平成8年度～令和2年度）



※保証承諾金額は、昭和23年9月の設立以来、過去最大となりました。

## II 決算

### 1 財務諸表

(1) 収支計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：円）

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
経常支出		経常収入	
業務費	4,437,848,903	保証料	17,241,940,782
借入金利息	0	預け金利息	10,225,245
信用保険料	9,021,455,656	有価証券利息配当金	997,959,104
責任共有負担金納付金	244,762,281	延滞保証料	586
雑支出	1,227,767	損害金	52,623,357
		事務補助金	53,343,174
		責任共有負担金	1,792,742,000
		雑収入	96,288,442
経常支出合計	13,705,294,607	経常収入合計	20,245,122,690
経常収支差額	6,539,828,083		
経常外支出		経常外収入	
求償権償却	12,435,069,431	償却求償権回収金	242,649,132
雑勘定償却	7,345,431	責任準備金戻入	6,951,097,472
退職金	2,522,883	求償権償却準備金戻入	4,824,870,045
責任準備金繰入	13,800,915,251	求償権補てん金戻入	10,762,325,780
求償権償却準備金繰入	4,327,459,204	保険金	9,509,124,030
その他支出	6,977,106	損失補償補てん金	1,253,201,750
		その他収入	1,911,906
経常外支出合計	30,580,289,306	経常外収入合計	22,782,854,335
経常外収支差額	▲ 7,797,434,971		
制度改革促進基金取崩額	0		
収支差額変動準備金取崩額	1,257,606,888		
当期収支差額	0		
収支差額変動準備金繰入額	0		
基本財産繰入額	0		

## (2)貸借対照表 (令和3年3月31日現在)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	481,150	基本財産	102,364,104,197
		基金	4,733,949,000
預け金	72,454,747,917	基金準備金	97,630,155,197
		制度改革促進基金	0
有価証券	144,304,895,980	収支差額変動準備金	42,292,746,110
		責任準備金	13,800,915,251
その他有価証券	47,758,549	求償権償却準備金	4,327,459,204
		退職給与引当金	2,866,696,628
動産・不動産	8,751,736,473	損失補償金	140,617,884,383
		保証債務	2,289,896,163,079
損失補償金見返	140,617,884,383	求償権補てん金	0
		借入金	0
保証債務見返	2,289,896,163,079	長期借入金	0
		短期借入金	0
求償権	7,126,657,945	雑勘定	71,381,045,853
		仮受金	40,247,768
譲受債権	0	保険納付金	159,355,429
		損失補償納付金	31,821,750
雑勘定	4,346,689,229	未経過保証料	71,122,998,746
未収利息	126,355,144	未払保険料	19,592,595
未経過保険料	4,002,973,513	未払費用	7,029,565
その他	217,360,572		
合計	2,667,547,014,705	合計	2,667,547,014,705

## 参考

上表は、信用保証協会法施行規則等に基づいて作成していますが、よりご理解いただくため、一般企業における貸借対照表の表示等に置き換えると次のようになります。

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
<b>【資産】</b>		<b>【負債】</b>	
現金・預け金	72,455,229	責任準備金	13,800,915
有価証券	144,304,896	退職給与引当金	2,866,697
その他有価証券	47,759	借入金	0
動産・不動産	8,751,736	雑勘定	71,381,046
求償権	7,126,658	未経過保証料	71,122,999
求償権償却準備金	▲ 4,327,459	その他	258,047
雑勘定	4,346,689	負債合計	88,048,658
未経過保険料	4,002,974		
その他	343,716	<b>【正味財産】</b>	
		基本財産	102,364,104
		基金	4,733,949
		基金準備金	97,630,155
		制度改革促進基金	0
		収支差額変動準備金	42,292,746
		正味財産合計	144,656,850
合計	232,705,508	合計	232,705,508

※次については、備忘勘定で借方・貸方同額のため、上表から除いています。

- ・保証債務見返(借方)、保証債務(貸方)2,289,896,163千円
- ・損失補償金見返(借方)、損失補償金(貸方)140,617,884千円

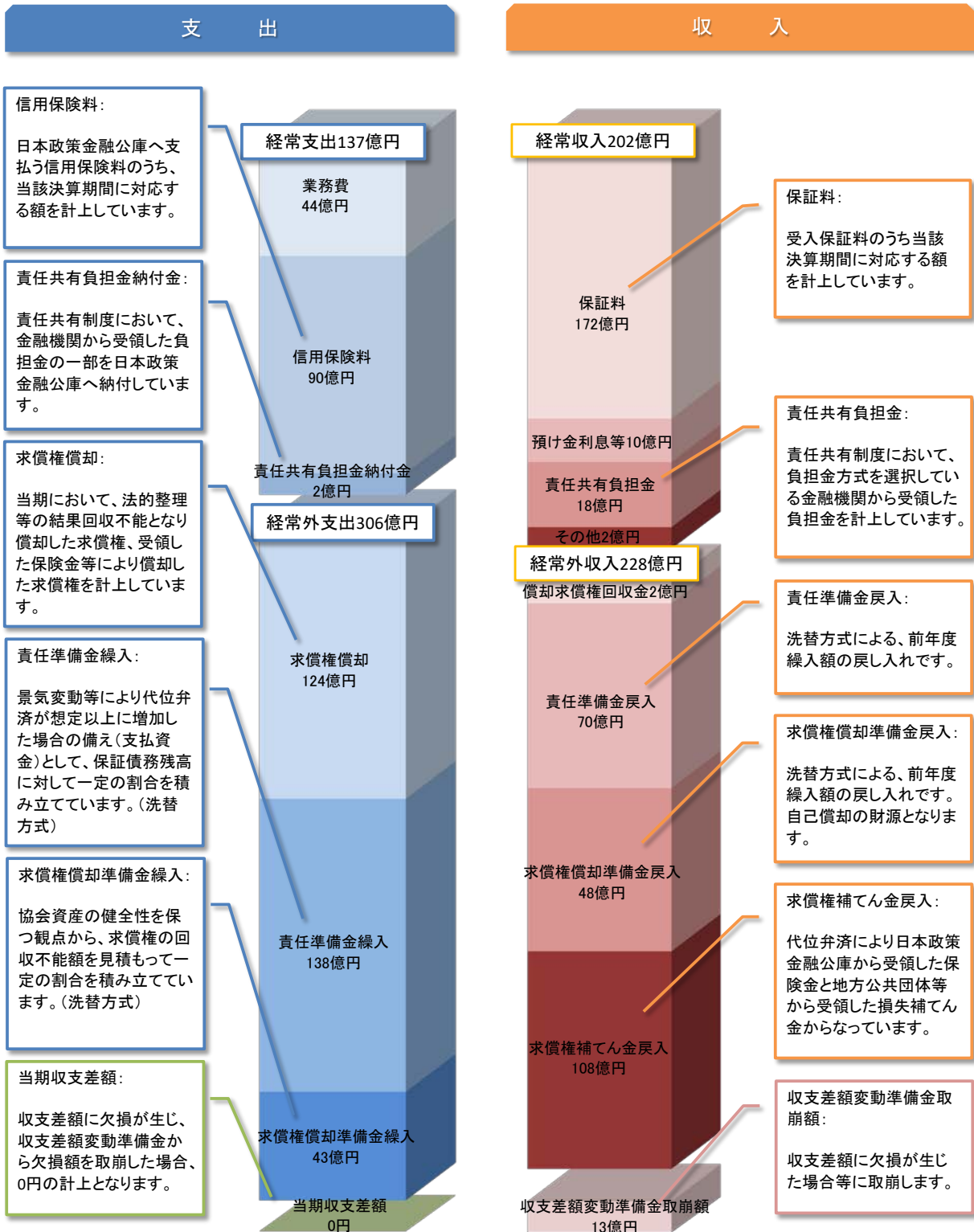
※数値の単位未満は、四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。

## (3)財産目録 (令和3年3月31日現在)

(単位:円)

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	481,150	責任準備金	13,800,915,251
預け金	72,454,747,917	求償権償却準備金	4,327,459,204
金銭信託	0	退職給与引当金	2,866,696,628
有価証券	144,304,895,980	損失補償金	140,617,884,383
その他有価証券	47,758,549	保証債務	2,289,896,163,079
動産・不動産	8,751,736,473	求償権補てん金	0
損失補償金見返	140,617,884,383	借入金	0
保証債務見返	2,289,896,163,079	雑勘定	71,381,045,853
求償権	7,126,657,945		
譲受債権	0		
雑勘定	4,346,689,229		
合計	2,667,547,014,705	合計	2,522,890,164,398
		正味財産	144,656,850,307

## 2 目で見る「収支計算書」と用語解説



(注) 数値の単位未満は、四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。